

○ 委員長報告

2月定例会本会議で報告された環境保健福祉委員長報告は、以下のとおりです。

平成29年2月定例会

環境保健福祉委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、消防防災ヘリコプターの運営管理についてであります。

このことについて一部の委員から、長野県消防防災ヘリの訓練中の事故を受け、本県はどう対応したのか。また、本県では、どのような訓練を行っているのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、本県も長野県と同様、西日本最高峰の石鎚山などヘリの運航に危険な箇所が多いため、日頃から、確実な点検整備や厳しい訓練の実施、危険箇所の把握と情報共有など、安全管理に最大限の注意を払っているところであるが、今回の事故を受け、翌日に、県防災航空事務所長ほか航空隊員と、運航を委託している愛媛航空株式会社に対し、改めて安全運航を徹底するよう、注意喚起したところである。

また、訓練の内容は、ホイスト装置での降下吊り下げ、救助・収容訓練や空中消火訓練等の乗務員訓練を行うとともに、各市町や消防本部との合同訓練に参加し連携を図っているほか、他県との訓練にも参加している。

今後とも、事故原因の調査状況などを踏まえ、必要に応じて対応策を講じるなど、より一層の安全管理を徹底していきたい旨の答弁がありました。

第2点は、クールチョイス強化事業についてであります。

このことについて一部の委員から、本事業は、具体的にどのようなことを行うのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、本事業は、家庭部門や業務部門での温室効果ガスの排出削減を図るため、県民や民間企業等の協力を得ながら、地球温暖化防止活動に取り組むものである。

具体的には、家庭の省エネ促進のための専門家による「うちエコ診断」の実施や、県独自のエコポイント導入によるライフスタイルの転換、省エネ家電への買い替え促進を図る「低炭素ライフスタイル普及促進事業」、温室効果ガス

を出さない自転車通勤の更なる普及を図る「自転車ツーキニスト拡大事業」、これまでのクールシェア、ウォームシェアに加え、県独自の取り組みとして、温泉・銭湯の利用を通じた省エネシェアキャンペーンを行う「温泉シェア推進事業」の3つの事業を実施するものである。

温室効果ガスの排出削減には、県民の皆様方に負担をお願いするような面があることから、主体的に、親しみをもって、気軽に楽しく取り組んでいただけるものにしたいと考えている旨の答弁がありました。

第3点は、愛顔の子育て応援事業についてであります。

このことについて一部の委員から、本事業を実施する目的は何か。また、事業の目標値をどう設定しているのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、本事業は、本県の平成27年の合計特殊出生率は1.53で、全国平均は上回っているものの、出生数は減少が続いており、特に第2子以降の減少幅が大きいことから、2人以上の出産を希望する方が安心して生み育てることができる環境を整備するために、県内紙おむつ製造企業と協働で実施するものである。

出生率の向上はもとより、県内企業の製品を県内販売店で購入する仕組みとすることで、県内産業の振興や地域経済の活性化を図るほか、県外からの移住促進にも資するものと考えている。

目標値については、本県のまち・ひと・しごと創生総合戦略において、平成31年度に合計特殊出生率1.58を達成すると掲げているほか、県人口ビジョンでは、遅くとも2020年に1.6程度、2040年には2.07程度まで上昇するよう努力するとしており、今後、目標の達成に向けて、本事業を含めた総合的な子育て支援施策に取り組んでいきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・消防団員の確保対策
- ・野生鳥獣による被害対策
- ・ドクターヘリの運航状況
- ・新生児救急車整備事業
- ・がん対策

などについても、論議があったことを付言いたします。

最後に、請願について申し上げます。

当委員会に付託されました請願1件については、願意を満たすことができないとして不採択と決定いたしました。

以上で報告を終わります。